

1994～1995年度

会 長 方 針

会長 有 田 昭 穂

15周年、20周年に向けて奉仕の理想のもと、力強く前進している北ロータリークラブの会長を仰せつかりました。伝統の良さを受けつぎ、皆様のご協力を得ながら全力をつくしたいと存じます。

I 1994～95年度のウィリアムH. ハントレーRI会長は、テーマとして

“BE A FRIEND”

“友達になろう”

と提唱されました。ごくごく普通の言葉です。何の変哲もない言葉です。然しこれをロータリアンの心で聞く時、その言葉の奥にかくれた深遠な理想、希望、願いが聞きとれる筈です。

皆様お一人お一人がロータリー活動の中にこのテーマの意義を見出される事をお願いします。

II 片岸ガバナーはサブテーマとして

“奉仕に結束、一步前進”

とされました。信念にそってクラブの結束をはかりつゝ、去年より今年、昨日より今日、一步だけの前進を期待する、という事です。

III 北クラブも一步だけの前進を願って

(1) 出席するのが楽しいクラブとする。

親しい中にも礼儀あり、お互い尊敬を交わしつゝ友情を深める。先づは例会での挨拶から

(2) 親睦はロータリー運動の出発点です。新しい企画も望まれます。

(3) ホームクラブへの出席を高める必要があります。例会出席はロータリーの基本です。

(4) 各委員会の活性化、

委員長だけの委員会ではなく、全員参加の委員会としたいものです。

IV 創立15周年の検討